

楠本孝先生のご退職にあたって

学長 村井 美代子

本学において、20年間にわたり刑法、刑事政策などをご担当いただきました楠本孝先生が、今年度末をもって定年退職されることになりました。先生は、1991年に中央大学大学院法学研究科博士後期課程を単位取得退学された後、2004年4月に本学法経科に助教授として着任されました。その後、2012年には教授へと昇格されるとともに、学内行政においては、2014年4月から法経科長を1年間務められた後、2015年4月から2年間附属図書館長兼連携センター長を務められ、その後2018年4月から1年間法経科長を、さらに2019年から2年間は再び附属図書館長兼連携センター長を務められた後、2021年度前期のサバティカル研修期間を経て、2021年10月からは地域問題研究所長を務められ、現在にいたっておられます。

楠本先生は、本学シーズ集『みえたんの種』に「社会から排除され、社会参加の機会を奪われている人々が犯罪や非行に至りやすく、そうした人々を社会に統合する施策こそが犯罪・非行対策上重要である、という観点から研究を進めています」と記されている通り、少年非行やヘイトスピーチ、精神障害者の触法行為など、一貫して社会的に弱い立場の人々に関わる問題を研究課題にして取り組んでこられました。地域問題研究所では所長を務められる一方、同研究所研究員として、今年度も「ヘイトスピーチ刑事規制の保護法益について」というテーマで研究に取り組んでおられます。

研究者、教育者としてその熱意ある姿を慕う学生は多く、最終講義に出席させていただきたいという卒業生の問い合わせも複数ありました。講義ではパワーポイントなどを使わず、「板書」にこだわられ、あたりが静かになる夜間の講義時には、校舎棟の教室で時間いっぱいまで板書をしながら熱心に講義をされる声を、渡り廊下でよく耳にしました。

私事になりますが、先生が2015年4月から2年間、附属図書館長兼連携センター長を務められた際、東福寺一郎前学長のもとで、学生部長として私も一緒にお仕事をさせていただきました。教員の服務問題に取り組まねばならない難しい時期でもありましたが、難題に一貫して強い姿勢で臨まれ、様々学ばせていただくことができました。さらに私が学長職に就いた2019年4月から2年間は、再び附属図書館長兼連携センター長として、楠本先生に様々支えていただきました。特に新型コロナウイルス感染症が拡大し、模索しながら大学運営に携わる日々の中、すべてに誠実に前向きに職責を担っていただきました。楠本先生がご退職の時期を迎えられ、本学を去られることは、本当に寂しい限りです。

今後とも健康に留意されつつ、様々な場面で一層ご活躍されることを祈念申し上げますと共に、先輩教員として本学を温かく見守っていただきますよう心よりお願い申し上げます。

楠本孝先生のご退職によせて

法経科長 田中 里美

楠本孝先生が2024年3月末日をもって定年退職されます。楠本先生は、1983年3月に中央大学法学部をご卒業され、1991年3月に中央大学大学院法学研究科博士後期課程を単位取得退学されました。本学に着任されるまでは、関東学院大学や明治学院大学、横浜国立大学で非常勤講師として教鞭を取られておりました。そして2004年4月に刑法、刑事政策の専門家として本学に着任されます。2012年4月には教授に昇格し、20年間と長きにわたり教鞭を取られてきました。

大学運営においては、2014年に法経科長を、2016年から2年間は図書館長に就任し、また、2018年に法経科長としてご活躍され、ふたたび2019年から2年間図書館長としてご活躍されました。2021年からは3年間、地研所長として地域問題研究所の所長をお務めになられます。法経科の年長者として長年法経科を支えてこられました。その御業績に敬意を表しますとともに、学科並びに大学への貢献に対し、心より感謝を申し上げます。

教育におかれましては、熱心に論文指導をされておりました。刑法ゼミの希望者は毎年多く、人気のゼミでした。毎年度末に必ず、卒業論文集である『Will』を発行され、卒業式でお配りになっておられました。学生からも慕われており、編入や論文指導においては親身になってサポートされ、刑法の授業はとても面白く、丁寧に教えて下さるとの評判をよく耳にしました。

研究におかれましては、少年法や外国人登録制度、ヘイトスピーチに対する刑事規制論など、刑法分野において多岐にわたりご研究されております。特に主要なご研究は、『刑法解釈の方法と実践』という書籍を単著で現代人文社から出版されました。研究を単著にてまとめる事は、地道にご研究をされてきた証であると存じます。地域問題研究所における地域問題研究交流会においても、研究成果を生かし、『外国人との共生の在り方を考える』をテーマにし、学生、教職員、市民向けに学習会を開催して下さいました。

楠本先生は本年3月をもって本学の専任教員としては退職されますが、これからもますますお元気で、ご活躍されますよう祈念しております。これまで大変お世話になり、ありがとうございました。心より感謝を申し上げます。